

輪島市の仮設を訪問した渋谷区議団らの聞き取りと感想



聞き取りした後のみなさんの感想

穴水から輪島の仮設住宅、輪島朝市に向かい、その道路沿いに壊れたまま放置されている住宅の現状は問題。ほとんどが全壊、半壊。これから仮設住宅が増えていく中で、今回の「お届け隊」「聞き取り」活動が大規模に必要であると思いました。

被災地の状況、被災者の声など

門前運動公園仮設で9軒訪問

- ・自宅が全壊したが、行政から何の連絡もない。(高根尾町)
- ・住宅の片付けが手についていない。
- ・義援金5万円がまだ入金されていない。
- ・解体工事待ちだが、土地が隆起しており、再建できるか不安で、不眠、血圧上昇で体調を崩している。仮設のスペースは狭い。
- ・夏物の衣類がない(自宅から取り出せないのも)。

門前グラゴルフ場仮設で4軒訪問

- ・道路が寸断されているので避難となった。自宅再建しようにも大工も見つけれない。
- 77歳の娘の私が100歳近い母親をみているが、お金もなく大変。家にも戻れない。
- ・紙おむつが欲しい。

内灘町向栗ヶ崎運動公園仮設を訪問、物資を届け対話

長水地区から来られたボランティアの聞き取りの一部
※液状化のひどかった西荒屋地域の方が多し仮設

仮設7棟-2号

- ・土地を国が買い上げてくれないと困る。息子たちに財産を残したい。
- ・小学3年の子どもがいる。送り迎えで大変、スクールバスを出してほしい。

仮設2棟-2号のKさん(内灘の自宅は全壊)

- ・内灘の自宅と娘の所?を往復し、ガソリン代が大変だった。
- ・一番のことは、住んでいた土地はどうなるのか。国が買うのか、民間が何かしてくれるのか。保険会社もうなるばかり。
- ・半壊と言われ、おかしいと言ったら、全壊となった。解体は、ステンドグラスがあって、自治体に任せず、息子がやることに。



がんばろう内灘事務所(略称)